

回覧一覧です

この一覧を上にご載せてください

発送日 2023 年 10月 15日				
件数	区分	回覧件名	枚数	メモ
1	回覧	木下大サーカス公演の招待券の配布方法について	1	
2	回覧	まちづくりコーディネーター養成講座の開催について	1	
3	回覧	海匠・山武 男女共同参画だより	1冊	
4	回覧	大網白里市市議会議員一般選挙に関する文書の配布	1	
5	回覧	令和5年度大網白里市総合防災訓練の参加について(依頼)	1	
6	回覧	老人クラブ連合会会報誌「ほのぼの」第78号	1部	
7	回覧	NPO法人 大網お助け隊	1	
8	回覧	大網白里市生活支援体制整備事業生活サポーター養成研修に参加しませんか	1	
9	回覧	令和5年度社会福祉法人大網白里市社会福祉協議会増穂支部事業のご案内について	1	
10	回覧	令和5年度大網白里市産業文化祭(産業の部)の開催について	1	
11	回覧	増穂中だより 9月28日(No6)	1	
12	回覧	増穂交番だより 9月、10月	2	

柿餅区の皆様へ

「木下大サーカス公演の招待券」の配布方法について

柿餅区長 吉田豊孝

秋晴の候、区会へのご協力ありがとうございます。

木下大サーカス千葉幕張公演事務局より、千葉県誕生150周年記念の社会福祉事業として、区、自治会へ招待券と割引券の配布がありますので公民館で10月28日抽選会を開催します。

【木下大サーカス公演の概要】

- ・公演期間：令和5年10月29日（日）～令和6年2月12日（月）
- ・場所：JR幕張豊砂駅前特設会場

【配布されるもの】

- ・無料招待券（自由席） 10枚

上記公演期間の内の指定された期間1週間

（チケットの裏に記載）

- ・割引券 20枚

当日入場料金より各300円引きで1枚につき4名まで

【配布方法】

- ・日時：10月28日（土） 10：30受付 11：00抽選会

柿餅公民館でくじ抽選会を行います。

ご参加ください。

魅力的な地域活動の秘訣がここにある！ まちづくりコーディネーター養成講座

日 時

2023.11/17 (金)

13:30～16:30 (受付13:00～)

申込締切
11/10

参加費:無料
定員:50名

講師

影山 貴大氏



○松戸市、鎌ヶ谷市、印西市等にてNPO支援センターのコーディネーター、数々のまちづくりプロジェクトのファシリテーションやコーディネーションを行う。
○NPO・行政・企業それぞれの立場でのコーディネーションを経験しているため、バランス感覚のあるコーディネーターに定評がある。

地域の困り事の解決や地域の活性化に向けて、昨今、注目されているのは、地域の様々な組織やひと、情報の「つなぎ役」となれるコーディネーター“人財”です。

そうした人財が増えていくことで、地域の困り事の早期発見や、解決に向けた活動をより多くの方と一緒に取り組める、そんな地域になっていくと言われています。

本セミナーでは、事例を踏まえつつ「まちづくりの秘訣」を学ぶことで、そんな人財のヒントを考えていきます。

《プログラム》

講演:45分 グループワーク:2時間

テーマ:「Beyond コロナの地域づくり
～世代を超えた地域づくり～」

○まちづくりコーディネーター

影山 貴大氏

- ・ 自組織にも役立つ「つなぎ役」という視点
- ・ 世代を超えたまちづくり・コミュニケーションのポイント

会場

大網白里市保健文化センター3階ホール
大網白里市大網 100 番地2 (市役所敷地内)
JR 大網駅より徒歩12分

申込方法

次の①～④を下記申込み先に FAX・電子メール
または電話でお知らせください。
(①氏名 ②住所 ③連絡先 ④所属)

対象

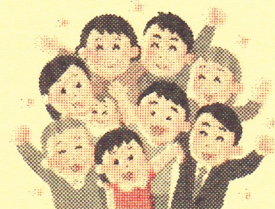
- まちの魅力や地域力を高めることに興味のある方
- 自身の活動の魅力を高めたい方

《お問合せ・申込み先》

大網白里市 地域づくり課 市民協働推進班 締切日:11月10日(金) 定員50名 ※先着順
TEL:0475-70-0342 FAX:0475-72-8454 e-mail:chiiki@city.oamishirasato.lg.jp

だん じょ きょう どう さん かく
男 女 共 同 参 画 だ よ り

～ 地 域 で ひ ろ が る 笑 顔 の 輪 ～



「男女共同参画」とは、地域の一人一人がお互いを尊重し合い、笑顔で過ごせる社会を目指すもので、ごく身近にあるものです。「男女共同参画だより」は、それぞれの地域で男女共同参画に携わるお仕事・活動をしている方々や、県から委嘱を受けた地域推進員の活動を紹介しています。

引退した女性アスリートに拍手とエールを！ 銚子市（岩瀬 賢氏・山本 政美・金尾 記子）

今回は、銚子市で二人目のオリンピック（トライアスロン競技）の加藤友里恵さん取材しました。

加藤さんは、生まれてすぐ銚子にきて青春時代を過ごしました。

現在、東京在住の彼女にとって銚子市は、“海の幸・山の幸”に恵まれていて、安心感がある、とても良い町だそうです。

もうじき2児の母となる彼女が、今、強く感じていることは、引退した女性アスリートの社会的処遇、例えばコーチ等への処遇やカムバックできる環境等が日本では欧米と比較してとても貧弱だという点です。子供を産み、またオリンピックに出場している外国人選手を見る度に納得せざるを得ません。

現在は、ランニング、水泳、サイクリング等の教室を開催し、幅広い年代に指導をしたり、講演の依頼を受けたり、イベント等で「まちおこし」として、銚子の魅力（ロケーション・食べ物）を伝えていく活動をしています。また、こうして彼女が活躍できるのも、理解し合える家族がいるからという事です。

—女性の持続的な社会貢献活動に拍手とエールを送りたいと思います。



加藤 友里恵さん

消防団も「ジェンダーレス」～輝く女性消防団員～ 山武市（諏訪 富美江）

山武市消防団女性部でご活躍されている、石渡恵子さんと柳瀬真実さんのお二人取材しました。格好よく・明るく・元気いっぱいのお二人は、活動服をキリッと着こなし、凛々しいお姿で臨んでくださいました。入団のきっかけは、地域貢献したい・自分に出来ることがあればと思ったからだそうです。

また、先輩方が素晴らしい・資格も取得できる・活動服への憧れ・ご家族や職場の理解もある等、たくさんの強い想いを語ってくださいました。

防火啓発運動を学童クラブで行ったり、女性に配慮したAEDの使い方を周知したり、「女性ならではの活動は自分達にしかできない」とやりがいを感じているとのこと。

医療・介護の現場で働く団員のほかにも、団員の各々が長所を活かして活動されているようです。

単身高齢者世帯の火事が多いことから、防災のアドバイスの機会を作りたいと語るほか、「誰もがその人らしく地域で尊重しあいながら、楽しく安全に暮らしていけるように」と、正義感にあふれるお二人の抱負がありました。



(写真右側 石渡恵子さん(左)と柳瀬真実さん(右))

エネルギーでキラキラと輝く、お二人の今後の活躍が楽しみです。

めざすは ナイチンゲール！～旭中央病院附属看護専門学校～ 旭市（伊藤 浩子・小橋 静枝）

旭中央病院附属看護専門学校は、全校の15%が男子学生で、お話を伺った2学年は、55名中8名が学んでいます。

志望動機は、身内に看護師がおられ、その影響を受けたとの意見が多く、学費や就職が確約されている点も魅力のようです。

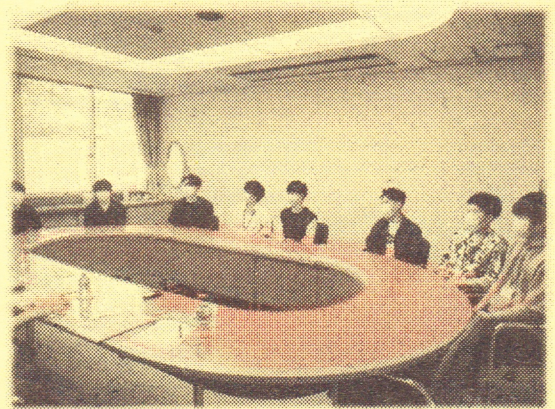
入学して半年後、ナイチンゲール精神の灯を受け継いでいく継灯式が行われ、生徒達がオリジナルの「誓いの言葉」を述べ心も新たにしましたということです。

2学年の今、技能面に加え、患者への配慮や自立を促せる支援が大切であり、実習では将来の臨床や現場で生かせる事を常に念頭に置いて取り組んでいるそうです。

卒業後は、「認定看護師の資格をとって地元で働きたい・尊敬する母親に負けないように患者さんを笑顔にし、関係性を作っていきたい・他の道も模索していきたい」等答えてくれ、大きな夢を持ちながらも目の前の現実と向き合い学んでいます。

ジェンダー教育を受け育ってきた彼らは女性多数の場と認識しつつもあまり窮屈さを感じず自分の考えをしっかりと語ります。

これからの道、様々な困難に負けず輝く未来に向かって頑張る彼らを応援していきたいと思います。



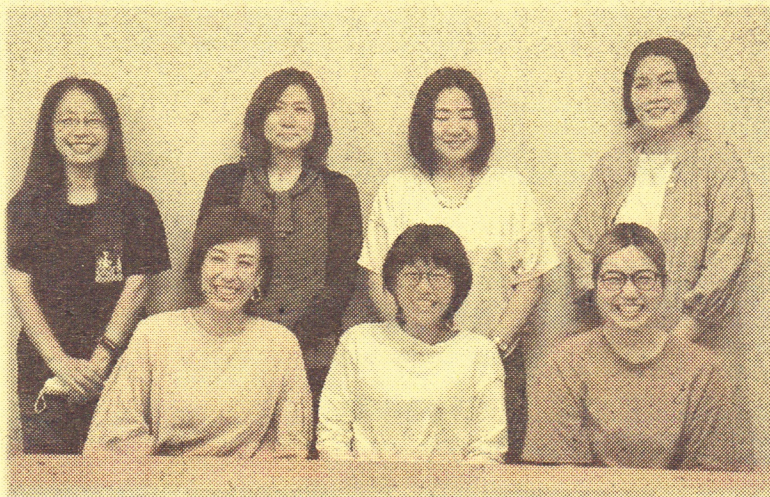
旭中央病院看護専門学校 2学年男子学生の皆さん

ドキドキときめく芝山町をめざして

芝山町（石井 正恵）

今年、芝山町に町を元気にしたい！を合言葉に年齢も職業も様々な女性が集まり、女性目線で町の活性化や住みやすさの向上など多岐にわたる内容を関係団体に向けて発信したり、各種イベントを企画するサークルが誕生しました。

名称は「ドキドキはにわ部」。メンバーは、町内の建設会社を営み、それぞれ一級建築士、洋裁教室講師、町議会議員、フォトスタジオ経営、司会業、芝山の大地に根ざした農家、郵便局勤務とたくさんの方とネットワークをお持ちの方で構成されており、年齢も三十代から五十代と幅広いです。



ドキドキはにわ部の皆さん

まず、芝山町の埴輪の魅力と価値をもっと知ってもらうため、コロナ禍以来中止、規模縮小だった「はにわ祭り」に参加する準備を始めています。

また、子育て世代、生活者としての生の声を町長への提言としてまとめ、近日提出をするそうです。

どこの団体にも属さず、心意気だけで集まったジャンヌ・ダルク達の活躍に、ドキドキ期待したいと思います。

千葉県男女共同参画地域推進員とは

男女共同参画社会づくりを進めていくためには、県民一人ひとりの意識を高める必要があります。

そのため、千葉県では「千葉県男女共同参画地域推進員」を知事が委嘱し、地域推進員は県内6つの地域に分かれて活動しています。

地域推進員は、地域と市町村・県とのパイプ役となり、各地域の特性を踏まえて、講座・講演会の開催や広報誌などの事業を通じ、地域での男女共同参画の意識の普及・啓発をしています。

～あなたらしく 自分らしく そして未来へ～ 九十九里町（松木 加津江・二葉 久枝）

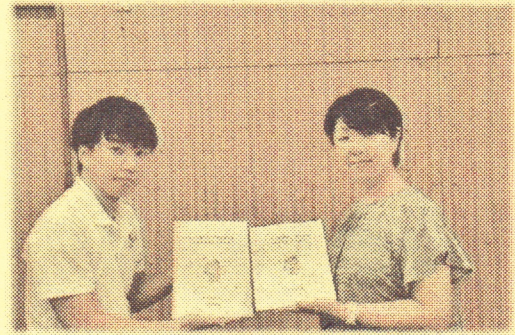
今年、九十九里町役場企画政策課を訪問しました。

長年、待ち望んでおりました九十九里町男女共同参画計画が令和5年4月策定されました。

策定に係り実施した「男女共同参画社会の実現に向けての住民アンケート調査」の結果では、「社会全体」「家庭」「職場」「学校教育」「政治」「法律・制度」「社会通念・習慣」などの各分野における男女平等感の問いに対し、すべての分野で男性優遇感を持つ人の割合が多く、依然として男性と女性の役割を固定化する意識や社会慣行が根強く存在することが明らかになりました。

九十九里町で一人ひとりが個人として尊重され、男女が対等な構成員としてあらゆる分野における能力を発揮することができる男女共同参画社会形成のための取り組みが急務であると言えます。

計画が策定され、冊子を作成して満足するのではなく、この計画が町民の皆様に身近に感じていただくため、推進員としての務めを果たせるよう、努めて参ります。

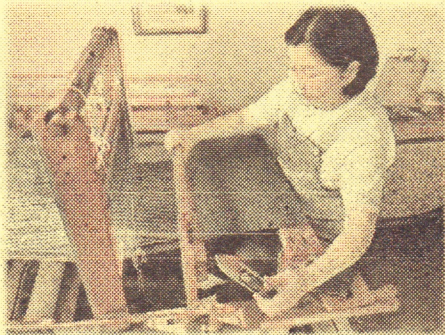


九十九里町男女共同参画計画と
同 企画政策課職員

世界に一つだけの藍を求めて

横芝光町（伊藤 清美・石川 真由美）

藍染めと機織り（はたおり）の「工房 藍い鳥（あおいとり）」を営む、大熊恵子さんからお話を伺いました。大熊さんは藍に出会って30年。藍に興味をもち、工房に通って藍染めを学ばれました。日々藍の発酵具合を確かめ、藍染めをしています。



大熊 恵子さん

ご自身が藍で染めた糸を使い、和機（わばた）で布を織ったり、藍で染めた布を再利用し裂き織りをしています。

工房を訪ねると、すぐに「藍染めの体験をしてみてください。」と、行程を教えていただき、早速白い布が藍色に染まっていく様子を体験することができました。また、藍に夢中で取り組むうちに仕立て屋さんなど何人もの素敵な人との出会いがあり、価値ある作品が生まれ、夢が広がってきたとお聞きしました。

大熊さんからは、藍染めは植物の命をいただくお仕事だから、こちらも命懸けて仕事してます。という、職人魂を感じました。

好きなことを仕事に、そして追い求め続けている大熊さんの人柄と考え方に、魅力と刺激を受けました。

農業から食育へ

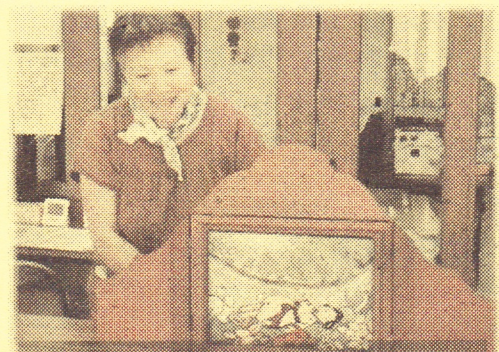
匝瑳市 男女共同参画担当

匝瑳市で代々続く農家の齊藤ふみ子さん。屋号「みやもと山」のもとで、有機栽培による米や大豆の生産を中心に、梅干や味噌などの加工食品・発酵食品作りを家族経営で手掛けています。

有機栽培の取組のきっかけは、現在、農業の大黒柱となっている息子さんが幼少期にアトピーだったことから。“体に良いものを食べてもらいたい”との思いで始めました。自然が好きで、野菜や料理を作ることが楽しくなり、今ではほぼ自給自足になりました。

さらに、「美味しいお米を届けたい」という一心で、マルシェへも出店し、おにぎりなどの販売も行っています。そこでの購入者の多くが女性であることから、女性目線での商品開発になることが多いそうです。

また、民話の語り部としても活躍されており、近頃は古事記に着想を得た紙芝居作品『かみさまの食堂』を自作しました。民話や紙芝居を通じて、子ども達が楽しみながら、昔からある日本の食べ物の大切さに気づける活動は、食育にもつながっています。



齊藤 ふみ子さん

子育て応援会社、ここにあり

大網白里市（今井 静子・塚田 みえ子）



学童最終日のひとコマ

子連れ出勤を応援する会社が大網白里市にあるのをご存じですか。今回は、本業の不動産業6割、地域活動4割というユニークな会社の会長である大里綜合管理の野老真理子さん取材しました。

社員の赤ちゃんが、会社の大きなテーブルの上で過ごしている—ちょっと想像してみてください。赤ちゃんが会社にいることでどんなに癒されることか・・・会長曰く「効率化、合理化の名のもとにゆとりや人間的な温かさは失われてきてしまいましたが、会社に小さな子どもがいることで心が和み、癒され、人としてまっとうになれることがあるんです。子育ても支えられたらと思っています。」と。

また、夏休みの学童保育も今年で30周年を迎えます。5、6年生がリーダーとなり、子どもたちの自治で運営されています。

昼食は自分たちで手作り、15キロウォークやキャンプなど数々のイベントでいろいろなドラマを経験し、ひと回り大きな自分に成長します。この学童も働く親たちの強力な助っ人となっています。

「困っているときに助け合える社会であれば、男女の違いや障がい、国籍など関係なく、当たり前と一緒に楽しく暮らせる社会になるはずです。」と。誰でも笑顔で受け入れる会長の生きざまそのままの言葉が、会社の経営方針になっています。これからも会長のご活躍にご注目ください。

尚、大里綜合管理は2008年、県の男女共同参画推進事業所奨励賞を受賞しています。

強い原動力を胸に

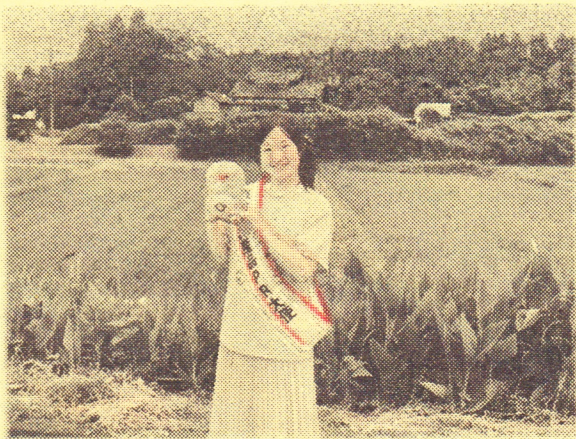
東金市（石川 安子・古川 煌子）

フラメンコ講師、株式会社ミキティランド代表、東金市公認特産PR大使など、多岐にわたり活動している土肥美木子さん。PR代行業を行う自身の会社では、福祉活動として障害のある人のために仕事の創出に取り組みられています。仕事以外では、田植え体験等の地域活性化イベントの主催もされています。

さまざまな活動をする原動力はふたつあり、ひとつ目が、パラリンピック競技の選手を介助した際に、福祉のあり方を考えるようになったこと。ふたつ目が、自身が抱えていたトラブルを周りの人の協力によって解決できた経験から、困っている人々を助けられるチームを作れたらと思ったことだそうです。

今後の抱負をお聞きすると、NPO法人を立ち上げることだとお話ししてくださいました。

土肥さんは、活動の中で、子どもから高齢者まで、どんな方でも自分らしく楽しめる場を創り出しています。自分の志と向き合い次々と挑戦していく姿に芯の強さを感じました。次はどんな企画が土肥さんから発信されるのかを楽しみにしています。



土肥 美木子さん

男女共同参画だよりへの感想をお寄せ下さい

『海匝・山武男女共同参画だより』をお手にとりいただき、ありがとうございました。

右の2次元コードまたはURLの

『ちば電子申請サービス』にて、ご感想をいただければ幸いです。

『男女共同参画だより第11号感想』



URL : https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=23320

<発行>

千葉県男女共同参画地域推進員(海匝・山武地域)

<事務局>

千葉県男女共同参画センター

〒260-0001 千葉市中央区都町 2-1-12

TEL : 043-420-8411 FAX : 043-420-8581

公式 X(旧 Twitter) : chibakensankaku

大網白里市議会議員一般選挙

投票日 令和5年11月12日(日)

投票できる方

次のすべてに該当する方

- ① 日本国民の方
- ② 平成17年11月13日以前に生まれた方
- ③ 引き続き3ヶ月以上、本市に住所を有する方
(令和5年8月4日までに大網白里市に転入の届出を行い、引き続き本市に住所を有している方)

棄権しないで、
大切な一票を投
票しましょう!

投票所および投票日時

場所：市内の指定された投票所
(入場整理券に記載されています)
日時：令和5年11月12日(日)
7時00分から20時00分まで



期日前投票

投票日(11月12日)に、仕事や冠婚葬祭などで投票に行けない方は、期日前投票ができます。

●大網白里市中央公民館 1階講堂

期 間 令和5年11月6日(月)～11月11日(土)

時 間 8時30分から20時00分まで

●農村環境改善センター 農事研修室

期 間 令和5年11月10日(金)及び11日(土)

時 間 9時30分から19時00分まで

※投票日の投票所の混雑を避けるため、期日前投票の積極的な利用をお願いします。

① 滞在地での不在者投票 ② 病院などでの不在者投票 ③ 郵便等による不在者投票

① 大網白里市の選挙人名簿に登録されている方で、仕事などの都合で投票日までに大網白里市に帰ることができない方は滞在地の選挙管理委員会で不在者投票ができます。

お早めに「投票用紙等の請求書兼宣誓書」を大網白里市選挙管理委員会又は滞在地の選挙管理委員会から取得してください。

② 不在者投票施設に指定されている病院や施設などに入院、入所中の方は、その施設で不在者投票をすることができますので、入院、入所されている施設にお問合せください。

③ 障がい、介護の程度が一定の要件に該当する方は、自宅で郵便等による不在者投票ができますので大網白里市選挙管理委員会までお問合せください。

※ その他、投票にお手伝いが必要な方は、裏面の投票支援カードをご利用下さい。

<お問合せ先> 大網白里市選挙管理委員会 電話0475(70)0397

★ 選挙公報は11月8日頃に新聞折込する予定です

とうひょうし えん 投票支援カード

とうひょう てつだ ひつよう かた か
投票にお手伝いが必要な方は、このカードに書いて、
にゅうじょうせいりけん いっしょ どうひょうじょ かかりいん わた
入場整理券と一緒に、投票所の係員に渡してください。

きぼう てつだ えら
希望されるお手伝いを選んでください。

どうひょうようし か か だいひつ
投票用紙に代わりに書いてほしい。(代筆してほしい)

つぎ てつだ
次のとおり手伝ってほしい。

[]

れい こえ どうひょうじょない ゆうどう
(例)・声をかけて、ゆっくりと投票所内を誘導してほしい。

みみ き ひつだんどう たいおう
・耳が聞こえないので、筆談等で対応してほしい。

びょうき た じじょう どうひょうようし もじ か かた
・病気やケガ、その他の事情で投票用紙に文字を書くことができない方に

か どうひょうじょ かかりいん ほんにん し じ だいひつ
代わり、投票所の係員が、ご本人の指示どおりに代筆します。

ほうりつ かかりいんがい かぞく どうこうしゃ か か
・法律により係員以外の家族や同行者が代わりに書くことはできません。

※ この投票支援カードは、おおあみしらさとし どうひょうじょ しやう
大網白里市の投票所のみ使用できるものです。

各 位

大網白里市長 金 坂 昌 典
(公 印 省 略)

令和5年度大網白里市総合防災訓練の参加について（依頼）

日頃より市消防防災行政にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度大網白里市総合防災訓練を11月26日（日）に大網小学校で実施します。

今年度は、大網小学校を会場に大網小学校区を対象に「避難訓練」を実施するほか、初期消火、放水訓練、救命救急講習、給水体験など自助・共助に役立つさまざまな市民参加型訓練や、通電火災対策、防災セミナーなどの防災啓発の実施を予定しております。また、訓練参加者には、災害時用の持ち出し袋や保存水・備蓄食料等を配布します。

いつ起こるか分からない大災害へ備え、ご家庭などでの防災対策について考える機会としていただきたく、ご家族や友人、地域の皆様でぜひご参加ください。

記

日 時：令和5年11月26日（日） 9時～14時

場 所：大網小学校

訓練内容

- 発災型訓練（大網小学校区にお住まいの方対象）
シェイクアウト訓練、避難訓練
- 市民参加型訓練
初期消火訓練、放水訓練・救命救急講習・給水体験など
- 避難支援型訓練
避難所運営訓練、炊出訓練、災害ボランティアセンター設置訓練
- その他
大網小学校児童を対象とした防災セミナー・防災体験

以上

問い合わせ

安全対策課消防防災班

電話 70-0303

令和5年度

大網白里市

総合防災訓練

▼日時

令和5年11月26日(日)
(午前9時から午後2時まで)

▼会場

大網小学校
みどりが丘自治会館

【雨天中止】

防災行政無線で緊急地震速報音を使用した避難訓練を実施しますので、実災害と間違わないようご注意ください。

参加者には、防災バッグ、備蓄食料などを配布します。お帰りの際は受付にお立ち寄りください。

対象

大網小学校区の住民

●発災型訓練
9:00~9:30

シェイクアウト訓練、避難訓練
(避難場所：大網小学校、大網中学校、
農村ふれあいセンター、みどりが丘近隣公園)

全市民

●市民参加型訓練
9:30~14:00

初期消火訓練、放水訓練・救命救急講習・
給水体験、ドローン飛行など

●避難支援型訓練
9:30~14:00

避難所運営訓練、炊出訓練、災害ボランティア
センター設置訓練
※炊出については10:00~14:00

●その他
8:30~12:00

防災教育のワークショップ
大網小学校児童も参加します。

※駐車場は子育て交流センターなどご利用いただけます。

問合せ：安全対策課消防防災班 0475-70-0303

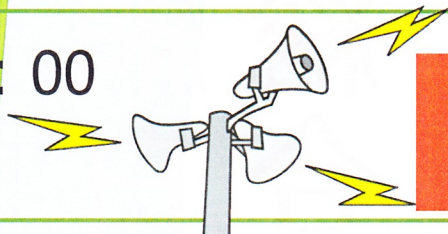


大網白里市総合防災訓練

11/26(日)

◆避難訓練（大網小学校区の市民対象）を実施します！

9:00



緊急地震速報
地震発生

緊急地震速報
が聞こえたら...

3つの安全行動



まず低く



頭を守り



動かない

揺れが
収まったら...

避難の準備



etc...

避難行動開始！

※原則徒歩でお願いします。

地区・自治会や家庭で決めた一時避難場所へ
集合し、避難場所（大網小学校）に避難しましょう



～14:00

避難訓練終了

会場に到着後、受付をして避難訓練は終了です。

◆避難訓練終了後は、体験訓練や防災セミナーへ！！

自助・共助に役立つ様々なメニューを用意しています。

是非、各訓練を体験してください。

参加者には防災バッ
グ、非常食等を配布
します





第78号

発行所
大網白里市四天木乙
2894-57
老人福祉センター

発行者
大網白里市
老人クラブ連合会
電話 77-4466

令和5年度山武地区
老人クラブ連合会役員総会

令和5年6月21日、九十九里町中央公民館、第2会議室において山武地区6市町から各3名の役員が参加し総会が実施された。内容は次のとおりである。

- 一、開会宣言
- 二、物故者に対する黙祷
- 三、山田会長挨拶
- 四、議事・配布資料「令和5年度山武地区老連役員総会資料」による審議
 - ① 令和4年度事業報告
 - ② 令和4年度歳入・歳出決算報告 異議なし。
 - ③ 令和5年度事業計画(案) 全員了承。
 - ④ 令和5年度歳入・歳出予算(案)について…事務局が説明、予算案であるので問題ないが、少し数値に違うところ

があることが判明、事務局の方で修正し、後日配布することになった。

- ⑤ 各市町役員の紹介・挨拶、令和5年度市町老連役員名簿に従い順に挨拶。

- 五、その他…なし
- 六、閉会



*午前中はちよつと早めに終了。午後は事務担当者の打合せ実施。

市老連 ペタンク大会開催

令和5年5月25日、桂山ペタンク場において市老連ペタンク大会が開催された。参加チームは8組で争われた。上位3位までのチームは次の通りである。

- 優勝…山辺Bチーム
- 準優勝…季美の森Cチーム
- 3位…山辺Aチーム

今回の大会を開催するに当たり、事前に草刈りを実施した。参加された市老連の役員の方々にお礼を申し上げます。

野添浚平(記)



市老連第一回女性部全体会議

令和5年6月9日、9:00～12:00老人福祉センター教養娛樂室において今年度最初の女性部全体会議が開催された。参加人員は役員3名を含め13名が参加した。会議の内容は次のとおりである。

- 一、令和5年度女性部員名簿と連絡網の確認。
- 二、令和5年度女性部担当の事業の確認。
- 三、令和5年度市老連年間予定表の確認。

四、会議終了後、気功の体験会を実施した。11:20～12:00、講師は田中康夫さん、講師の指導についていけない方もいたようである。



第57回なのはなシニア千葉 特選演芸会開催

令和5年6月11日、1330からサンライズ九十九里において県老連と市老連の共催による特選演芸会が開催された。参加者は昨年と同じくらいの130名ほどであった。



之さんの唄に合わせて10人以上が踊った。中には白里郷土芸能保存会のメンバーが3人位、ハッピを着て踊ってくれた。楽しいひと時だった。

今回は原田直之さんの民謡ショーを中心
に、毎年決まって行われる「なのはなシニア音頭」の歌に合わせて皆様にご踊りいただき、今年も原田直

市老連グラウンド・ゴルフ大会

令和5年6月21日、市運動広場において市老連グラウンド・ゴルフ大会が実施された。参加人員は62名であった。今大会で上位6名の方々に商品が授与された。結果は次の通りである。

- 優勝…季美の森先人会 遠藤様
- 準優勝…上谷新田卯月会 外処様
- 3位…個人会員 加藤様
- 4位…上谷新田卯月会 竹内様
- 5位…個人会員 古山様
- 6位…弥幾野先人会 井出様

・ホールインワン賞…23名受賞
*今回の大会で上位30名の方々には9月14日に実施予定の山武地区高齢者グラウンド・ゴルフ大会の出場権が与えられた。



市老連ゲートボール大会開催

6月23日、9:00から大網地区農村公園のゲートボール場において実施された。参加チームは3チーム（Aチーム、Bチーム、Cチーム）であった。今年は山武地区大会が中止になった。上位の1チームが県大会に出場する権利が与えられた。競技の結果はBチームが優勝、Aチーム、Cチームが同点とともに2位となり、賞品が授与された。



市老連食と生活研修会①

令和5年6月29日、大網白里市中央公民館調理室において食と生活研修会①が開催された。今回はポリ袋クッキングと題して、「コープみらい」から3名の講師（田中さん、安井さん、戸塚さん）をお迎えし実施された。参加人員は24名であった。日常食を災害時などに非常食として利用できることを体験した。調理の内容は①ごはん、②肉じゃが、③おやつ（プリン）、④切り干し大根とツナの和え物、味も上々で、ポリ袋は便利なものだと、参加者全員が痛感したようである。



市老連囲碁・将棋大会開催

令和5年7月14日、老人福祉センター「コスモス荘」において市老連の囲碁・将棋大会が開催された。参加選手は囲碁・5名、将棋・3名で、結果は次の通りであった。

(囲碁の部) (将棋の部)

優勝・田中康夫 優勝・渡部惇

2位・名和誠二 2位・阿部信行

3位・加藤岡秀夫 3位・牧野孝幸

尚、囲碁、将棋の各上位2名の方々は8月30日に予定されている山武地区高齢者囲碁・将棋大会に出場の権利が与えられた。しかし将棋の部で優勝した渡部惇さんは今年の全国大会に出場予定の為、地区大会には2位の阿部信行さん、3位の牧野孝幸さんが参加することになった。



市老連音楽の世界へ、と題して生演奏とお話と脳トレ開催

令和5年7月11日、大網白里市保健文化センターにおいて、市老連主催の「ようこそ 音楽の世界へ」と題した催しが行われた。参加者は48名であった。出演者はNHKのど自慢のシンセサイザー奏者として活躍されていた井出史子さんと大網小学校などで絵本の読み聞かせをされていたボランティアグループ「マザーグース」の皆様で、大型スクリーンを使った絵本の読み聞かせが主体であったが、楽器の生演奏、音楽に合わせて脳トレ運動も行われた。初めての試みで次は何が出てくるのだろうか」と期待感があり、非常に良かった。



県老連新任単老会長・若手会員研修会開催

令和5年7月18日、千葉市生涯学習センターにおいて2023年度新任単老会長・若手会員研修会が実施された。大網白里市老連からは新任単老会長として安岡律子会長、林延匡会長、若手会員として岩田秀夫組織副部長、随行者として阿部副会長、大村教養部長、北田教養副部長の合計6名が参加した。研修会では4つの事例が紹介された。

一、袖ヶ浦シニアクラブ連合会

人口65000人の袖ヶ浦市のシニアクラブは令和4年度〜5年度に70名の会員獲得に成功した。新興住宅街で高齢者の多い地区での単位クラブの新規設立、既存単位クラブへの新規入会によるものであった。千葉県老人クラブ常務理事の研修会も寄与したとのことでした。

二、長南町しばはら熟年会の単位クラブ

人口7300人、4300世帯、毎年200人が減少すると言う環境の中、16人のシニア会員の毎月の活動内容を重点地区の所帯に回覧でPRし、加入促進を図っている。

三、松戸市はつらつクラブ連合会

高齢化が進む地区で、シニアクラブ単独で電動カートを走らせ住民に足の便を提供した。

四、八千代市緑が丘長寿会

20年前87名の会員からスタートして現在255名の会に成長、女性の割合が6割。サロン活動が活発。



それぞれ特徴を持った活動で、成果を出している。認知症、要介護者の増加、特殊詐欺など高齢者を取り巻く様々な問題を未然に防ぐためにも信頼できる仲間や社会とのつながりが必要であり、私たちの仕事が必要を支えていることを肝に銘じて日々の仕事に励みたい。
季美の森先人会会長 林 延匡

九十九里町老連との 麻雀交流会開催

7月21日、九十九里町中央公民館にて、麻雀交流会が実施された。大網より20名、九十九里町より20名の参加で盛大に行われた。大会は午前10時スタートで午後3時までには昼食を挟んで、半チャンを4回実施、合計の点数で順位を競った。結果は次の通りである。優勝は九十九里町の田崎 玲さんが106点で決まり。2位は大網の飯田美枝子さん103点、3位は大網の吉岡敏昭さん101点、以上のような結果となった。皆さんお疲れ様でした。 榎並谷将男(記)



市老連介護予防と健康寿命 研修会(ロコモ体操)開催

令和5年7月28日、大網白里市保健文化センター3階ホールにおいて健康運動指導士の岩沢妙子さんによるロコモ体操が実施された。いつも通り、ユーモアたっぷりのトークで体をほぐし、今回はタオルを使った運動で、いつも使わない筋肉を伸ばすなどを行った。健康寿命を少しでも長く維持していきたいと痛感した。 内山たか子(記)



大網白里市花火大会

令和5年7月29日、17:30から大網白里海水浴場において花火大会が開

催された。今年は千葉県創立150周年、大網白里市制10周年の節目に当たり、これらを記念して盛大に行われた。17:30から白里海岸中央本部テント前で開会式が行われ、最初に、なつまつり実行委員会内山信男実行委員会会長の挨拶に続き、金坂昌典市長と阿井伸也県会議員の挨拶があり花火大会がスタートした。来賓者は開会式の後、栈敷席に移動し、5000発もの盛大な花火を満喫した。夏まつり実行委員として参加。野添(記)



市老連PCサロン開催

広報誌「ほのぼの」の編集業務やホームページへの投稿などを誰でもできるようにすることを目的に、写

真撮影、転送、パソコンへの取り込み、データの整理方法などの業務や、Wordによる記事の作成、Lineグループや、市老連ホームページへの記事の投稿などを皆さんで練習しながら覚えてもらうために5月に3回、6月に1回、7月に3回、8月に2回実施してきた。各人が所有しているノートパソコンを持参していたが、各人のPCアプリのインストール状況が違うことや、各人の技術レベルの違いもあり、条件を整える作業に手間取っている状況である。最近では広報誌よりも、当面必要な市老連理事会の為の次第の作成や理事会議事録作成を効率よく作成するための方法の説明と作成練習を行って、レベルアップを図っている。



※会報に関するお問い合わせ先

大網白里市老人福祉センター

「コスモス荘」電話(77)4466

大網白里市高齢者支援課

高齢者支援班 電話(70)0332

NPO法人 大網お助け隊

ボランティア活動支援者募集説明会

- 日時: 2023年11月18日(土) 14:00~15:00
- 会場: 大網白里アリーナ 1F研修室
- 内容: お助け隊の概要、支援活動の内容、質疑応答

説明会参加予約は不要です。直接会場にお越し下さい
上履きをご持参ください
興味ある方で説明会に参加できない方は、
別途ご相談ください

私たちは、大網白里市民対象のボランティア活動団体で、高齢者・障がい者・子育て世代等が抱える日常の困り事を有償でサポートしています。



ボランティアは、ご自分の都合の良い日に、興味のある分野を、出来る範囲で、活動できます。
あなたも地域社会に貢献してみませんか！

私たちと一緒にボランティア活動しませんか！

NPO法人 大網お助け隊

〒299-3217 大網白里市木崎3 4 1

【お問い合わせ】

事務所：0475-73-5110

開所時間 9:00~12:00/13:00~16:00 土日祝休

携帯：080-5543-9163

url: <https://www.machisapootasuketai.com/>

大網白里市 高齢者支援課高齢者支援班 0475-70-0332



大網白里市生活支援体制整備事業 生活サポーター養成研修に参加しませんか 支え合い・助け合いのまちづくりの原動力

地域に住んでいる高齢者のちょっとした困りごと、家事援助（掃除・買物等）や送迎などの支援に必要となる基礎知識を身につけるための「生活サポーター養成研修」を開催します。

当講座を受講することで、高齢者の生活支援を担う事業所やボランティア団体（事業所）で活動もでき、またご自身・ご家族の介護予防に備えたスキルアップにもつながります。

▼日時＝11月29日（水）9時30分～16時00分
11月30日（木）9時30分～16時00分

▼会場＝中央公民館

▼参加費＝無料

▼内容＝生活サポーターの理解、活動内容・生活支援の方法、高齢者の身体的特徴、各事業所の活動紹介、事業所紹介とサービス提供の実践についてなど

▼対象＝両日参加可能で、市内に住民登録のある方

▼申込方法＝社会福祉協議会の窓口、又は電話での申し込み

▼申込期限＝11月17日（金）

▼その他＝全日程受講された方には、修了証書を発行します。

◇ Q&A

Q：生活サポーターになるには、どうすればよいのですか。

A：生活サポーター養成研修を修了し、介護予防、日常生活支援総合事業の訪問型サービスA又はB・Dの指定を受けている介護保険事業所に生活サポーターとして登録をする必要があります。

Q：生活サポーターは、何ができますか

A：高齢者の家を訪問し、家事援助（買い物や掃除等）などを行います。

問い合わせ・申し込み：社会福祉法人 大網白里市社会福祉協議会
〒299-3251

大網白里市大網 131-2・133 合併 1

TEL 0475 (72) 1995

FAX 0475 (72) 1996

回覧

令和5年10月10日



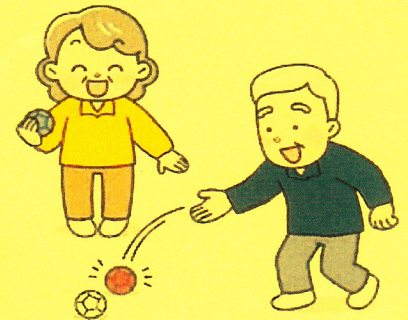
支部事業のご案内

大網白里市社会福祉協議会 増穂支部

ポッチャで遊ぼう



令和5年7月26日実施した一場面



ポッチャは、幅6m、長さ12mのコートで、目標の白球(ジャックボール)に、先行は赤、後攻は青のボールを1チーム3人が2球ずつ6球投げます。両チームが持ち球を全部投げ終わった時点で、白球に近いチームが1個、1点とカウントします。4~6回行い合計点数が多い方が勝ち。最後の投で大逆転もあり、子どもから高齢者まで楽しく遊べます。

日時 令和5年11月21日(火)

10:00~12:00 受付 9:30から (小学生以上)

場所 中部コミュニティセンター 2階 視聴覚室

臨時駐車場 ヤックスケアタウン大網増穂店 向かい側 小川駐車場

お問い合わせ 増穂支部 いきいき部会 駒崎72-9778

回覧

令和5年10月11日

各位

大網白里市産業文化祭実行委員会
会長 金坂 昌典
(公印省略)

令和5年度大網白里市産業文化祭(産業の部)の開催について

時下、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、市の産業を通じての市民同士の交流とふるさと意識の高揚を目的とする大網白里市産業文化祭(産業の部)を下記のとおり開催いたします。

開催日当日は、会場周辺道路の混雑が予想されますことから、近隣の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、交通誘導員を配置して交通安全対策に努めて参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

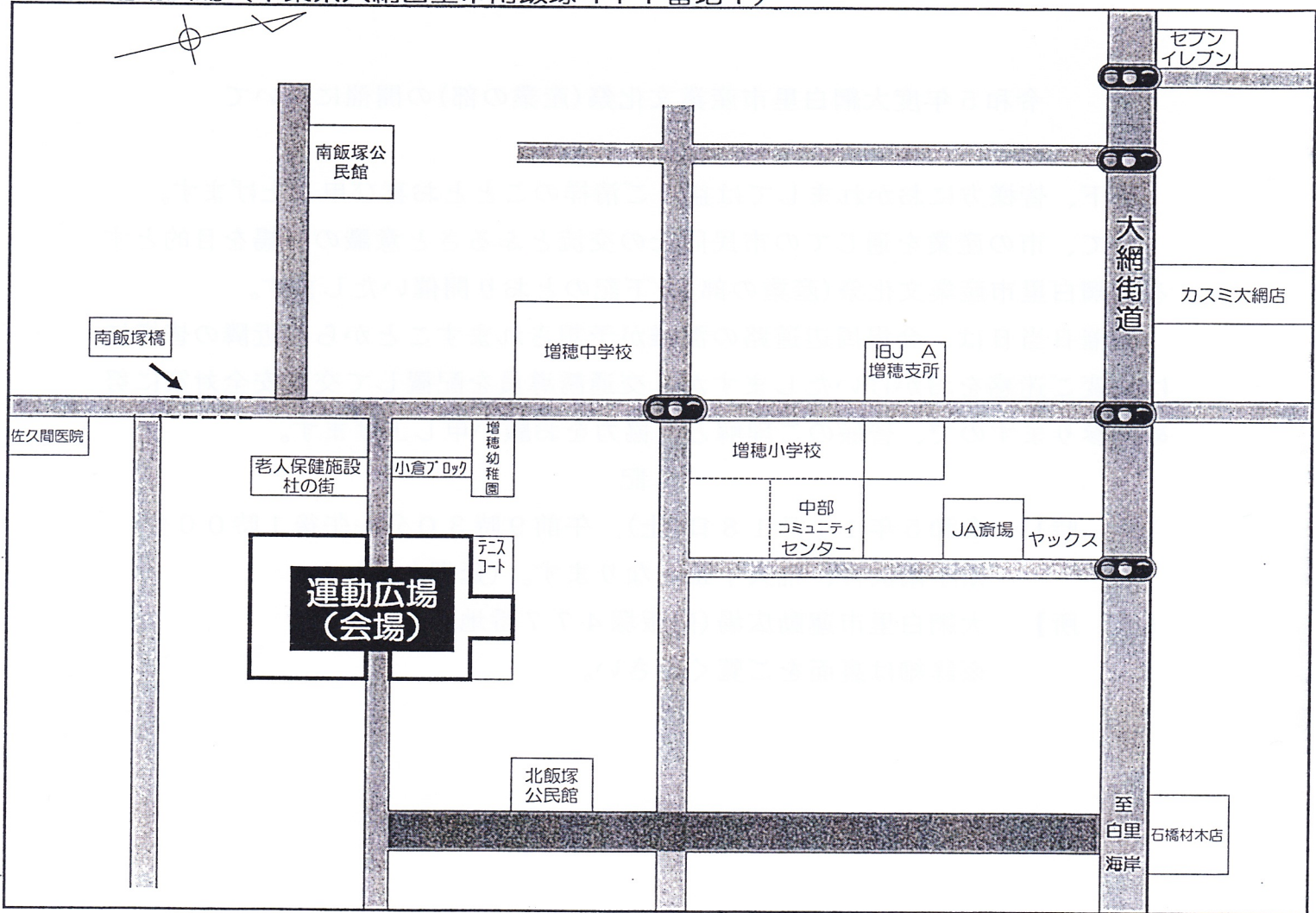
記

- 【日時】 令和5年11月18日(土) 午前9時30分～午後1時00分
※小雨決行、荒天中止となります。(延期なし)
- 【場所】 大網白里市運動広場(南飯塚477番地1)
※詳細は裏面をご覧ください。

お問い合わせ先

大網白里市産業文化祭実行委員会事務局
(大網白里市農業振興課内)
電話 0475-70-0345
担当 石渡・地引

令和5年度大網白里市産業文化祭（産業の部）会場図
会場：運動広場（千葉県大網白里市南飯塚477番地1）



増穂中 だより

《学校教育目標》

「自ら考え、精一杯自己実現し、
仲間の存在を認め合える生徒の育成」

(ねがい)

自分のよさを知り 思いやりをもって仲間と生活し
挑戦することを恐れなくて 学校生活を楽しめる
増穂中生になってほしい。

令和5年9月28日 (No. 6) 文責：教頭

【みなさんが考える

〇〇の秋とは？】

おおぎ まさし
校長 大木 正之

秋分の日を境に、一気に秋らしくなってきました。まさに、「暑さ寒さも彼岸まで」ですね。今年は9月に入っても暑い日が続き、また、台風による大雨の被害もありました（被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます）。温暖化の影響か、年々夏が長くなり、その分秋が短くなっているように感じます。

ところで、秋といえば読書の秋、スポーツの秋など、「〇〇の秋」といわれますが、その由来についてご存じでしょうか？いくつか紹介したいと思います。

「読書の秋」といわれるようになったきっかけは、夏目漱石が1908年に発表した『三四郎』という小説だという説が有力です。その中で、唐の時代（8世紀頃）に活躍した中国の韓愈（かんゆ）という詩人がよんだ「秋は過ごしやすい季節だから、夜には明かりを灯して読書をするのに最適だ」という意味の詩が取り上げられています。ことにより、秋は読書をするというイメージが日本中に広まり、「読書の秋」という言葉が定着したということです。

「スポーツの秋」のきっかけは、1964年に行われた1回目の東京オリンピックだといわれています。このとき開会式が行われた10月10日が体育の日（現在のスポーツの日、10月の第2月曜日）という祝日になり、この日を中心としてスポーツを楽しむ風潮が生まれ、「スポーツの秋」といわれるようになりました。これは、ご存じの方も多いかと思います。

そして、「食欲の秋」です。これは、本能が働くからであるといわれています。動物は、気温が下がってくると基礎代謝が上がるため、寒い冬に備えて脂肪分を蓄えておこうとするのだそうです。人間はクマのように冬眠はしませんが、寒さに備え

て本能的にたくさん食べてしまうのです。秋は収穫の時期であり、美味しいものが多いということもあるかもしれません。

ちなみに、「〇〇の秋」と聞かれた場合、6～7割の人は「食欲の秋」と答えるそうです。やはり、本能には勝てませんね。学校では、「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」そして、生徒にとって「実りの秋」となるよう、教職員も頑張っていきたいと思います。2学期もよろしく願いたします。

【地震対応 避難訓練】

9月1日（金）大地震を想定した避難訓練を行いました。子供たちは訓練の意義をしっかりと理解し、速やかに避難することができました。生徒には、地震発生時、1分以内にとるべき3つの安全行動（以下のイラスト参照）を指導し、実際に行いました。

各家庭でも参考に
にしていただけ
ばと思います。



3つの安全行動(市のHPより抜粋)

今年は、関東大震災発生から100年の年にあたります。また、多くの方が体験した東日本大震災からは12年が経ちました。いつ何時、地震が起きるか分かりません。有識者からは今後、数十年の中で「南海トラフ地震」が起きる可能性なども頻繁に訴えられています。

加えて、災害は地震だけではなく。今月8日（金）には、台風13号の影響で市内にも命の危険を感じるほどの雨が降りました。

地震に限らず、いざというときに「自分の命は自分で守る」という意識（自助）、要援護者の避難に協力したり、地域の方々と消火活動を行ったりしようとする意識（共助）を持って行動できるよう、今後も防災教育を進めてまいります。



訓練の事前指導

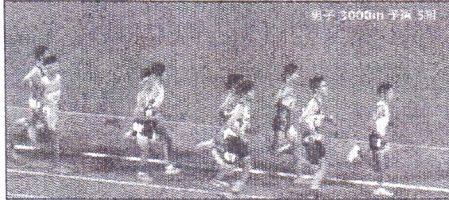


グラウンドへ避難する様子

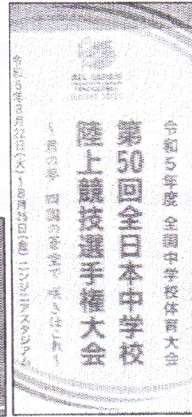
【全日本中学校陸上競技選手権大会】

本校3年生の男子生徒が、8月22日(火)愛媛県で行われた全国大会において、男子3000mに出場しました。

前半から先頭集団につき、積極的な走りを見せました。惜しくも予選通過はなりませんでしたが、己の限界に挑戦する姿、最後まで全力で戦う姿はとても立派でした。



3000m予選 5組



大会の看板

【部活動 秋季大会の結果(一部)】

7月に3年生が引退し、どの部活動も1・2年生での新チームがスタートして約2か月が経ちました。夏休みの間、暑い中でも一生懸命練習に励み、この秋季大会を迎えました。

9月24日(日)現在での結果を掲載します。

◎山武郡市秋季大会(個人戦は最高位選手を表示)

・ソフトテニスの部

男子団体 2回戦惜敗 男子個人 2回戦惜敗
女子団体 2回戦惜敗 女子個人 2回戦惜敗

・バスケットボールの部

女子 3位

シュートの様子→



・卓球の部

男子団体 予選リーグ惜敗 男子個人 3回戦惜敗
女子団体 予選リーグ惜敗 女子個人 2回戦惜敗

・陸上競技の部(6位以内を掲載)※は県大会出場

女子総合	3位		
2年女子100m	2年	女子生徒	1位※
共通女子200m	2年	女子生徒	2位※
共通女子100mH	2年	女子生徒	6位
共通女子走高跳	2年	女子生徒	1位※
共通女子砲丸投	1年	女子生徒	4位
共通女子4×100mR	1年	女子生徒	4位
	2年	女子生徒	6位
共通男子800m	2年	男子生徒	1位※

(走者は全員2年生)

【梨をいただきました!】

佐久間梨園様から、梨(豊水)のプレゼントがありました。9月12日(火)の給食に追加され、子供たちは美味しそうに食べていました。「すごくおいしい!」とか「みずみずしい!」など、各クラスで喜びの声が上がっていました。

改めまして、佐久間梨園様、梨をご提供いただき、本当にありがとうございました。



いただいた梨

【実力テスト】

9月4日(月)、全学年において実力テストを行いました。このテストの出題範囲は、入学直後から今年の1学期に学習した部分までと大変広く、「難しいな!」と感じた人もいたと思います。しかし、この実力テストは、現段階での自分の“本当の実力”を知ることができる良い機会です。また、3年生にとっては、テスト結果が千葉県公立高等学校等の入学試験の合否判定基準となりますので、受験(検)する高校を決めていくための重要なテストなのです。3年生は今後4回、実力テストが行われます(1・2年生は、来年の1月にあと1回実施する予定です)。

点数だけに一喜一憂するのではなく、自分は「どの単元が苦手なのか」あるいは「理解不足なのか」を見極め、「どのように改善すべきか」を考え実践していくことが大切です。そして、それらの取組を繰り返す行うことが、真の理解につながりますので、結果にかかわらず、今後も努力を続けてほしいと思います。



試験を受ける3年生

【吹奏楽部、美術部発表】

7月20日(木)の放課後、吹奏楽部による演奏と美術部によるサンドアートの発表が体育館で行われました。美術部は、他の部と違い、大会やコンクールがないため、日頃の活動を披露する場として、数年前からこの取組を行っています。

本年度、学年ごとに計3つのアート制作が披露されました。鑑賞した多くの生徒は、砂の温かさや人の指で描くぬくもりを感じながら、刻々と変化していく砂のアートに魅了されていました。



吹奏楽部による演奏



サンドアート作品

【教育実習】

9月11日(月)から、教育実習が行われています。実習を行っているのは2名です(いずれも本校の卒業生)。笑顔あふれる後輩たちとともに学校生活を送ったり、授業を行ったりすることで、「教員になりたい」という気持ちが、より一層強まっていることでしょう。

ぜひ、子供たちのことを第一に考え、情熱あふれる教員になってほしいものです。

